

松元地域

「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

〔開催概要〕

日時：平成22年2月10日（水） 19：00～20：15

場所：松元公民館

平成22年3月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	松元地域町内会連絡協議会	平成19年の「市長とのふれあいトーク」において、「検討する」とされた結果及びその後の進捗状況について教えて欲しい。 ① 1. 県茶業指導農場跡地の活用についての検討状況	県茶業指導農場跡地の活用については、現在、基本構想の策定を進めているところです。 来年度、基本計画を策定しますが、パブリックコメントなども利用して意見を聞き、地域の方、周辺住民、また、観光客など多くの皆さんに利用される交流拠点として、憩いの場として整備したいと考えています。 今後、順調に進めば、23年度設計、24年度工事、25年度に供用開始になる予定です。	経済局	県茶業指導農場跡地については、整備する施設の種別やゾーニング等について、21年度に基本構想を策定しました。具体的には、農産物直売所、多目的会議・研修室、飲食施設、多目的広場等を整備することとしたところです。 詳細については、22年度策定する基本計画等で検討してまいります。基本計画については、地域住民の方からご意見をいただくほか、広く市民の方からもパブリックコメントによりご意見をいただく予定にしております。 その後は、順調に進めば、23年度に設計、24年度に建設工事、25年度に供用開始となる予定です。
		② 2. 四元工業団地の活用についての検討状況	四元工業団地については、旧松元町時代に取得し、合併に伴い引き継いだものです。今、団地を整備して、工業を配置するようにするには大変な整備が必要です。今の厳しい財政の中で、早急に工業団地として整備するのは困難ではないかと思えます。 本市は、工業団地を含む遊休の土地の活用を進めるため市有財産利活用検討委員会を庁内に立上げておりますので、その中で、検討したいと考えています。工業団地を造るとなると相当な投資が必要になりますので費用対効果も考えながら検討していきます。	経済局	四元工業団地を工業団地として活用する場合は、団地造成に多額の経費を要するほか、水道等のインフラ整備も必要になることから、工業団地としての活用には困難な面があるところでございます。 このようなことから、市有財産利活用検討委員会において、利活用実施計画を策定したところであり、環境保全用地など新たな活用を検討することといたしております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		③ 上谷口地区の土地区画整理事業についての検討状況	<p>上谷口の区画整理事業については、新市まちづくり計画の中に盛り込まれておりますが、今後、区画整理を実施するかどうか考えていく必要があります。現在、市全体で7地区、100億円近くの区画整理事業を行っており、これらの整備が完了しないと予算を投下するのは難しいと考えています。</p> <p>今の政権になって、公共事業は国の予算が削減され、国の補助がなかなか難しい状況です。現在の7地区についても計画通りに進ませることができるか苦慮しているところです。</p> <p>しかしながら、区画整理については、都市基盤の整備、まちの活性化、住民の利便性、通行の便などの点で配慮しなければいけないと考えており、21年度から、上谷口地域を含めた市内12地区について区画整理など基盤整備の調査をしているところです。</p>	建設局	平成21年度には業務委託により調査検討地区の設定、現況調査・解析を行った上で地区ごとに現状と課題を整理し、公共施設の整備のあり方について検討をしたところ。公共施設整備のあり方の検討にあたっては整備手法の類型化により、調査検討地区を「面的整備検討地区」と「個別整備検討地区」に分類し、上谷口については「個別整備検討地区」としております。今後は『市街地整備検討ワーキンググループ』において、望ましい公共施設整備のあり方を検討することとしております。
		④ 高齢者福祉センター松元の整備についての検討状況	<p>高齢者福祉センター松元につきましては、なかなか、利用される機会が少ない状況です。多くの人たちに利用しやすいような利用形態を前向きに検討したいと考えています。</p>	健康福祉局	高齢者福祉センター松元については、平成22年4月から、施設の有効利用を図るため、高齢者の利用を妨げない範囲で、利用対象者を高齢者以外の市内の団体等にも拡大する予定にしております。
		⑤ 平野岡温泉施設の年末年始の営業についての検討状況	<p>平野岡温泉施設につきましては、できるだけ年末年始に営業できるように前向きに検討していきたいと考えています。</p>	教育委員会	22年度から年末年始に営業する予定にしております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	松元町商工会	<p>⑥ 夏祭りの補助金は、総事業費の3分の1が補助となっており、実行委員は企業への協賛金を懸命にお願いしているが、厳しい経済状況下において、現状維持が精一杯であり、残りを商工会が補助し補っている現状である。</p> <p>商工会も近い将来合併を予定しており、商工会からの補助も不確定要素となっている。夏まつり補助金を2分の1の補助に引き上げていただきたい。</p>	<p>夏まつりは地域の活性化に大きく貢献していると思っています。</p> <p>市としても、21年度は150万円を上限とし、3分の1の補助率で助成しており、できるだけ補助を活用していただき、地域の皆さんの交流を進めていただきたいと思っておりますが、昨今の厳しい地域経済の中で、協賛金集めなど皆様が大変ご苦労をされ、なかなか事業費を確保できないことがあろうかと思えます。</p> <p>限度額は、今年増額しておりますので、補助率について検討してみたいと思います。</p> <p>そのことを踏まえて、皆さんに補助を活用していただき、さらに交流を深めていただければと思っています。</p>	市民局	<p>夏まつりは地域の活性化に大きく貢献していると思っています。補助の基本的考えは、地域の多くの人たちに参加していただき、事業に繋がる補助を行うことであり、また、補助金は市の財政状況や地域の実情などを踏まえて補助するものであると考えております。</p> <p>昨今の厳しい経済情勢の中で、協賛金募集など皆様が大変ご苦労をされ、夏まつりを実施していただいていることは承知しております。</p> <p>以上のことから、夏まつり補助金につきましては、平成22年度から補助率を現在の3分の1から2分の1に引き上げることといたしております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鹿児島市茶業振興会	<p>⑦ 現在、茶の価格は、ここ数年低迷しており、経営的にも非常に厳しい状況である。このような中で、茶業青年部は各種イベントなどで茶の良さを宣伝、アピールしている。しかしながら、年間を通しての市内での販売ができていないので、市内に年間を通じて販売できるような場所等の設置をして欲しい。</p> <p>また、鹿児島市は、中国の長沙市と友好都市締結や、山形県の鶴岡市と兄弟盟約を結んでいます。このような地域とも是非販売できるような手立てをして欲しい。</p>	<p>松元地区のお茶は栽培面積も多く、本市の特産農産物の中でも重要な位置を占めております。ご意見にあったとおり販売価格が低迷しており、皆様方も大変苦労されていることと思えます。私は市の特産物を多くの人に知ってもらうため、各地でトップセールスに取り組んでおり、福岡、大阪、東京、また、外国では、韓国、台湾、中国、パース市などでもPRしてまいりました。</p> <p>本市は、16年度に合併し、お茶も含めた素晴らしい財産をいただきましたので、ブランドとして発信していきたいと思えます。そのためには、流通の問題が大きいと考えており、先般、経済連にも流通促進の要望をしております。昨年からは、市に農業アドバイザーを設置しております。その方の指導も仰ぎながら、流通の促進、販売に力を入れていきます。</p> <p>大阪でプロモーションも行いましたが、皆さん、鹿児島の食材等に変な興味を持ってもらえました。新幹線で鹿児島に行きたいとのアンケート回答も多かったと聞いています。鹿児島に来られたら、お茶をはじめ、鹿児島の特産品を是非味わっていただきたいと考えています。そのためにも、関係団体とも協議していきたいと考えています。</p>	経済局	<p>松元地区のお茶は栽培面積も多く、本市の特産農産物の中でも重要な位置を占めております。ここ数年リーフ茶の消費の減退から現在の茶の価格は低迷しており、経営について非常に厳しい面があります。</p> <p>これまで、市長のトップセールスや旬のキャンペーンの中でお茶を取り扱っており、市内、県外での販売促進にも取り組んでいます。今後ともこれらイベントを活用しながら販売促進に努めてまいります。</p> <p>松元地域には、20の荒茶工場があり、販売についての取り組みがそれぞれ異なることから、それらの工場や、販売に実績をもつ経済連、農協等の関係団体と協議を行い、販売促進に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	松元地域女性団体連合会	⑧ 旧松元町時代から子育て支援に取り組んでいる。高齢者福祉の施設はあるが、福祉館はない。松元地域内では、地域福祉活動の拠点施設がないため、福祉館を開設していただきたい。 建設して欲しいというわけではなく、開設していただきたい。	市全体で福祉館を中心に各地域の福祉ネットワークを構築したところで す。 現在のところ、地域福祉館を建設する計画はございませんが、今ある施設の中で、福祉館活動ができる施設を見つけていこうと考えています。社会福祉協議会がネットワーク構築を進めていますので、社協の支部がある支所を活用していただければと思います。 22年度には、支所にあるボランティアセンターの会議室を、できれば、地域の様々な福祉団体が共同で事務や打ち合わせに利用できるようにしたいと考えています。	健康福祉局	現在のところ、地域福祉館を建設する計画はございませんが、市社会福祉協議会と連携して、地域の福祉活動を支援する体制づくりを進めており、松元地区では、市社協の支部がある支所を地域福祉ネットワーク推進拠点と位置付けているところでございます。 22年度には、支所にあるボランティアセンターの会議室を、地域の様々な福祉団体が共同で事務や打ち合わせに利用できるようにしたいと考えています。
5	松元地域町内会連絡協議会	⑨ 高塚市営住宅が廃止される予定である。 松元地域には、平野岡運動公園しかない。高塚市営住宅廃止後の跡地を地元住民、高齢者や子供達が楽しく遊べる「公園」にして欲しい。子供達が安心して遊べる場所がない。高齢者、子どもが触れ合える場所が欲しい。	高塚住宅の廃止後の跡地利用につきましては、地域の皆さんがどのように活用するか、また、子どもから高齢者までが楽しく交流し、憩える場所という意見を念頭に置きながら検討しているかなくてはいけないと考えています。 市有財産利活用検討委員会の中で検討する候補の1つとして挙がってくるかもしれませんが、こういった活用がいいのか、また、どのような施設を造るのか、地域の方々に慣れ親しんでいただけるのかを充分検討していきたいと考えております。 今日頂いたご意見は伝えておきたいと思っております。	企画財政局 建設局	高塚住宅の跡地利用につきましては、貴重な市有財産として全庁的な視点から、その活用策を検討する中で、地域の要望等も充分参考にしながら、有効かつ効率的な利活用を進めてまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	松元町商工会	⑩ 商工会は厳しい環境下で、職員数も減っている。23年4月に向けた合併協議も進んでいるが、商工会は商工会議所とは違い、小規模・零細企業を中心に細やかな指導・育成している状況であり、合併となっても商工会合併後も現在の各商工会補助金総額を下回らない補助を強く要望したい。	<p>商工会は、地域における商工業の総合的な調整、改善発達をはかるための団体として活動していただいています。</p> <p>今、市では、それぞれの商工会の対して補助をしており、構成メンバー、経緯を踏まえて、金額を定めて助成しています。今後、その団体が1つになるということで、全体的な見直しが必要だと思います。活動内容等も違うでしょうから、そういったことを充分検討して、円滑な事務が進むように、合併後の補助金については皆さんと協議をしてみたいと考えております。</p> <p>1つの商工会として、組織も変わり、また、職員数も現状維持は難しいかもしれませんが、経済情勢の厳しい中で、頑張っている地域の商工会の役割は大きいものがありますので、合併に向けて市も努力していきますし、また、その時期になりましたら、皆さまのご意見を聞かせていただきたいと考えております。</p>	経済局	<p>商工会は、地域における商工業の総合的な改善発達をはかるための経済団体として、地域商工業の振興発展に努められるとともに、まちづくりにも積極的に取り組まれるなど、地域振興の中心的な団体として大変重要な役割を果たしておられます。</p> <p>合併後の補助金につきましては、商工会の円滑な活動が確保されるよう十分に検討するとともに、組織体系や事業規模、会員数等を踏まえ、皆様と協議する中で算定していきたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	松元地域町内会連絡協議会	<p>⑪ 町内会活動への助成についてお願いしたい。</p> <p>みんなで参加わがまちづくり支援事業補助の期間延長及び内容を充実して欲しい。</p> <p>合併による町内会活動が、行政からの事務委託料を収入源とする「行政主導型」から「自主運営型」に代わった当初は、その戸惑いから、町内会活動の停滞が見受けられる町内会があったが、少しずつ、この支援事業の恩恵を受けた活動をする町内会が見受けられるようになって、町内会活動の基礎づくりに大変役立っている必要不可欠な事業である。</p> <p>しかしながら、この事業は来年度までの事業とされている。町内会活動は、自由組織による運営活動を基本に、住みよいまちづくりの役割を果たすことにあることも承知しているが、「市と協働するまちづくり」の一環でもある。</p> <p>このことを踏まえ、支援事業の期間延長、補助率の引き上げ、限度額の引き上げをお願いしたい。</p>	<p>「みんなで参加わがまちづくり支援事業」は、18年度から22年度までの5年間の事業として、皆さんが活用しやすいように実施しています。期限を設けたのは、5年間である程度意見を集約され、皆さんで知恵を出し合い、工夫して取り組んでいただきたいと思いますという思いからです。</p> <p>町内会は地域力の核になる組織です。市の課題の一つが町内会の加入率を高めることだと考えています。旧5町の加入率は高い方ですが、旧市は加入率が低く、若い人が入らない問題があります。そのことが、まちづくりにおける大きな支障となっています。まちづくりにおける町内会の役割は大きなものがあります。23年度以降については、町内会の果たす役割、重要性を考え、地域の活性化を図るため、市としての役割を果たせるように検討してまいります。</p> <p>一方では、大変厳しい財政環境もあり、市として自由になる予算も減っております。知恵と工夫を凝らしながら、地域に力が付くことで、その輪が広がり、市域全体が活性化すると思います。県都鹿児島市が元気ないと、県全体が衰退します。県都鹿児島市をこういった形で活性化するのか、その一翼を担うのが町内会ですので、意を用いていきたいと考えています。</p>	市民局	<p>町内会をはじめとする地域の住民団体は、その成り立ちから、それぞれの地域性を考慮した自主的な取り組みが大切であると考えておりますが、共に助けあう共助の精神や地域の絆を基盤として、地域づくりに取り組まれるなど、行政運営を支える原動力の一つであり、まちづくりにおける行政のパートナーと考えております。</p> <p>市としても、このようなことを念頭に、本市では、これまで同様、各種補助制度の創設などそれぞれの団体の主体性や自主性を最大限尊重しながら、その活動を積極的に支援していきたいと考えております。</p> <p>「みんなで参加わがまちづくり支援事業」を実施するにあたって5年という期限を設けた理由は、本来、町内会は自主的に独自の活動をすべきと考えていることから、これまで以上に町内会等が利用しやすい制度とするとともに、期間を限定して実施することにより、町内会の活動が活性化され、より大きな効果が期待できるのではないかと考えたためであります。</p> <p>なお、平成23年度以降については、このようなご意見も踏まえ、その時点における地域コミュニティの現状をみながら検討したいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	松元地域町内会連絡協議会	⑫ 鹿児島市には、市の設置した遊歩道があると聞いている。松元地域は自然に恵まれ既存の山林道があり昆虫・植物類などが豊富です。自然を活かしたまちづくりをして欲しいとの意見もある。ご配慮いただきたい。	各地域に遊歩道を設置することで、多くの皆さんに散策していただき、また、緑を感じていただけるのではないかと考えております。 現在、遊歩道として設置するには、遊歩道となる基準を設けております。実際に、様々な場所を検証しながら進めていますが、現在、松元地域で今の基準に照らすと、該当がないところで。設置基準そのものをどう見直すかということになります。本市の魅力は豊かな自然と歴史などでございます。その自然を活かした施設の整備にあたって、どのように基準を見直すかは今後の課題だと考えております。今後どのような対応ができるのか考えてみたいと思います。	環境局	現在の遊歩道の基準は、市民の方々に安全に自然を楽しんで散策していただけるように設けられております。 これまで調査を行ってきた中では安全性などの基準に照らして該当するところはありませんでしたが、今後、基準に適合するようなルートがあるときは、積極的に自然遊歩道指定に向けた取り組みを行ってまいります。
9	鹿児島市茶業振興会	⑬ 現在計画中の農産物直売所お茶畑の中に茶の施設等の設置をして欲しい。 また、県茶業指導農場跡地の活用計画については、その中にお茶畑を残し、茶摘体験や茶の手もみ体験、また松元に残る茶の製造方法等、多くの方が茶に触れる機会ができるよう、茶の歴史館のようなものを設置して欲しい。	県茶業指導農場跡地の活用につきましては、今年度、基本構想、来年度、基本計画といったスケジュールで活用計画策定を進めています。 ご意見にあった、お茶づくりを実際に体験できる施設についても検討してみたいと思います。松元地域の特性を活かした整備を進めることが、ひいては、地域の方に愛着を持っていただくことに繋がると考えています。 これから松元地域を含め、多くの皆さまに意見をいただいて検討してまいります。	経済局	県茶業指導農場跡地については、22年度策定する基本計画で詳細について検討してまいります。 松元地域はお茶の産地であり、来客者がお茶に対して興味を持ってもらえるよう、お茶の体験や、お茶についての展示ができないかなども検討する予定です。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	松元町商工会	⑭ 商工会の合併が迫っている。職員の減が予想される中、支所に専門的な職員を配置していただきたい。	<p>商工会の合併により、専門的な資格を持った方がいなくなる、また、情報の共有ができないという不安があると思います。市も商工会の育成について、これまで補助金を交付して参りましたが、引き続き取り組み、その中で職員の配置も含めた、指導、情報の共有等について、担当部局の職員が商工会に指導、また話をする場面もあると思います。</p> <p>合併しますと大きな組織になりますので、どのように配置するかは担当部局にも考えさせたいと思っております。</p>	経済局	<p>商工会の支援につきましては、今後も引き続き（中小企業振興条例に基づく）助成金の交付等を行うとともに、緊密な連携をとりながら情報交換等を行うことにより関係機関と連携して各面から支援を行っていきたいと考えております。</p>
11	鹿児島市茶業振興会	⑮ 国・県で導入できない茶の補助事業についてお願いしたい。 合併後、市からの補助事業により茶の摘採機や防霜扇等の整備が進み大変感謝している。 現在、茶工場の製茶機械においては、なかなか国・県の事業等が少なく、また、導入の要件等も厳しく、導入が難しい状況である。現在の茶の情勢を見るとなかなか思うような経営ができない。 できるなら茶工場の機械導入についても市の単独での補助をお願いしたい。	<p>お茶の生産を取り巻く状況は、厳しい情勢だとは思いますが、これまでの補助を維持していくのが基本だとは考えております。新規の補助はなかなか厳しい面がございます。</p> <p>しかしながら、お茶そのものは鹿児島市の産物として、補助という形ではなく、こういった支援ができるか考えなくてはいけないと思います。</p> <p>今後につきましても、国、県事業を、引き続き活用してまいりたいと考えておりますが、制度資金の紹介等を含めた経営相談なども進めてまいりたいと考えています。</p>	経済局	<p>現在、国、県事業の採択要件を満たす防霜扇・摘採機等につきましては、国、県事業を活用し、要件を満たさないものについては、市の単独事業で対応しているところでございます。</p> <p>今後につきましても、国、県事業を、引き続き活用してまいりたいと考えておりますが、茶工場の製茶機械は、荒茶生産に当然備えるべき施設機械である面が強いことから、市の単独補助事業による整備は難しいと考えます。</p> <p>当面の間、市では、関係機関と連携して制度資金の紹介等を含めた経営相談で支援してまいります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	松元地域女性団体連合会	<p>⑯ すこやかランド石坂の里については、利用者が65歳以上になっている。合併前は福祉サークルなどで利用できたが、合併後、運用が厳しくなり使えなくなった。子育てサロンは65歳以上を含むので利用できるが、65歳上の人を含まないと利用できない。大変良い施設であり、利用料を支払ってもいいと考えている。高齢者を優先して構わないので、地域の人にも開放していただけないか。</p>	<p>すこやかランド石坂の里については、合併前は様々な年代の方が利用していたようですが、合併して、他の地域との一体化を図るとのことでもとめましたので、地域の方々にご不便をおかけした面もあるかもしれません。合併して5年が経過したことで、それぞれの実情に合った対策を検討していかなくてはいけないと考えています。</p> <p>利用者を高齢者に限った施設については、65歳以上の方に元気に、楽しく生活していただきたいとの目的で、各地域に高齢者福祉センターを設置しており、石坂の里も同じ目的で設置されたものと思います。しかしながら、高齢者の方々が使っていない施設の有効利用も大切です。本市の全高齢者施設を多くの方に使えるようにすると、逆に高齢者の方々が使えなくなることも考えられますので、実情を見て、多くの方が使っても支障が無い状況であれば柔軟に対応していきたいと考えております。</p>	健康福祉局	<p>すこやかランド石坂の里については、平成22年4月から、施設の有効利用を図るため、高齢者の利用を妨げない範囲で、利用対象者を高齢者以外の市内の団体等にも拡大する予定にしております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	松元町商工会	⑰ 100円バスが非常に活用されているが、日曜日は運行されていない。地域で行われるイベントは土日が多い。 日曜日においても、100円バスを運行していただきたい。	100円バスは、地域住民の方の日常生活の交通手段として活用していただいております。 土日の運行や停留所の場所など地域によって様々な要望があります。市は、吉野、喜入などであいばすを運行していますが、それらと、100円バスの地域を含めて、全体的な交通の体系を検討しているところです。 土日にバスを運行しますと経費も上がりますので、経費、利用形態、費用対効果と住民の利便性を勘案しながら、どのような運行ができるか検討していきたいと思っております。できるだけ皆さんの意に沿うように、また、市全体としてどのような運行ができるか検討していきたいと思っております。	企画財政局	コミュニティバスは、通院、買物、温泉といった地域住民の日常生活の交通手段を確保するために運行しているものであり、行事の開催等に伴う一時的な運送ニーズに対しましては、基本的に主催者において対応していただくものと考えております。ご要望の件につきましては、関係部署にお伝えいたします。
14	松元地域女性団体連合会	⑱ 松元地区保健センターが支所の横にあり調理室があるが、PTA活動などに利用したいが、使えなかった経緯がある。 食育なども提唱されている中で、土・日・祝日など利用できるようにして欲しい。	保健センターは、市民の皆様の健康の維持相談、増進や各種検診などの役割を担う施設です。 閉庁日については、施設の維持管理、衛生面の管理が難しいことから今まで開放していないところです。 しかしながら、本市も食育基本計画を策定し推進しており、今後、地域の皆さまにどういった形で利用していただけるかを検討していかなくはないと考えております。今後の課題とさせていただきます。	健康福祉局	保健センターは、市民の皆様の健康の維持増進や疾病予防のため、各種検診や予防接種のほか、健康相談などの各種相談業務を行っている施設でございます。 本センターはじめ市施設は、その目的・用途を妨げない範囲で目的外使用ができることとなっておりますが、職員が不在の閉庁日の利用につきましては、防火や安全衛生面など施設の維持管理等におきまして、特に難しい面があります。 しかしながら、本市では、食生活改善推進員とともに地域における食生活改善に取り組んでいるとともに、食育推進計画を進めておりますことから、今後の検討課題とさせていただきます。